

機関番号：32682

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2009～2010

課題番号：21720053

研究課題名(和文) 漫画・アニメ・ゲーム文化の複合アーカイブ構築のための基礎調査

研究課題名(英文) Preliminary studies for archiving *manga*, *anime*, and games

研究代表者

森川 嘉一郎 (MORIKAWA KAICHIRO)

明治大学・国際日本学部・准教授

研究者番号：40318837

研究成果の概要(和文)：漫画・アニメ・ゲームの複合アーカイブ施設となる「東京国際マンガ図書館」(仮称、計画主体：明治大学)の計画の進行を背景に、漫画・アニメ・ゲーム関連の資料を収蔵する既存の主要な施設を調査し、それぞれの所蔵資料の量や範囲、保存法に関する情報を収集した。また、漫画の原稿やアニメの制作画稿など、歴史展示の構成に必要な資料を試験的に取得することにより、実践的な取得方法や流通経路を調査するとともに、取得した資料を用いて目録化の実験を行った。

研究成果の概要(英文)：To facilitate preliminary programming for a planned archive of *manga*, *anime* and games (the *Tokyo International Manga Library* of Meiji University), information were gathered from existing facilities committed to the collecting, preserving, cataloging, and exhibition of *manga*, *anime* and games. To establish channels and methods of acquiring items that are necessary for composing chronological exhibitions of this cultural domain, samples of original *manga* drawings and *anime* production materials were collected and catalogued on an experimental basis.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	2,500,000	750,000	3,250,000
2010年度	1,400,000	420,000	1,820,000
年度			
年度			
年度			
総計	3,900,000	1,170,000	5,070,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：芸術学

キーワード：漫画，アニメ，ゲーム，アーカイブ，データベース，メディア芸術，図書館

1. 研究開始当初の背景

(1) わが国で制作された漫画・アニメ・ゲームなどのポップカルチャーが海外で好評を博している状況を受け、政府は、これらを「メディア芸術」「コンテンツ産業」「クールジャパン」などの枠組みで有望な輸出文化として位置付け、その振興策を実施し始めた。しかし、この分野は学問の対象としては新し

く、有効な施策の立案に必要な基礎研究が乏しい状況にある。このため、基礎研究を可能にするための体系的なアーカイブの必要性が謳われ、政府により「国立メディア芸術総合センター」が計画された。

(2) 明治大学では、2009年10月に漫画とサブカルチャーの専門図書館である米沢嘉博

記念図書館を駿河台に開設し、同館を先行施設として運用しながら、2014年度を完成目標に、漫画・アニメ・ゲームの複合アーカイブ施設となる「東京国際マンガ図書館」(仮称)の設置準備を進めている。研究代表者である森川は、施設の企画立案をこれまで主導し、その実施計画に関わっている。

2. 研究の目的

(1) 本研究は「米沢嘉博記念図書館」を拠点に、約2,500坪規模の複合的な図書館兼博物館施設となる「東京国際マンガ図書館」(仮称)を準備すべく、日本の漫画・アニメ・ゲームの収集と保存、および展示運用を行うための、基礎調査と技術の蓄積を進めることを目的とする。

(2) 具体的には、既存施設における漫画・アニメ・ゲーム関連資料の所在と保存法に関する情報を集積するとともに、漫画・アニメ・ゲームの歴史展示を構成する上で必要となる資料の取得経路を明らかにすることに焦点を合わせる。

3. 研究の方法

(1) 国立国会図書館や、漫画・アニメ・ゲームの関連資料を多く収蔵する公共機関、京都国際マンガ図書館などの主要な漫画専門図書館、個人蒐集家などに取材調査を行い、所蔵資料や保存法について聞き取りを行う。

(2) 漫画の原稿やアニメの制作画稿など、歴史展示の構成に必要な資料を試験的に取得することにより、実践的な取得方法や流通経路を調査するとともに、取得した資料を用いて目録化の実験を行う。

4. 研究成果

(1) 本研究の経過を踏まえ、2009年10月に漫画・アニメ・ゲームの複合アーカイブ施設「東京国際マンガ図書館」(仮称)の計画を作成・発表した(図1)。



図1:「東京国際マンガ図書館」(仮称)イメージ図

(2) 本研究の経過を踏まえ、2009年10月に漫画とサブカルチャーの専門図書館「米沢嘉博記念図書館」が開設された(図2)。



図2:「米沢嘉博記念図書館」書庫

(3) 国立国会図書館、大阪府立中央図書館国際児童文学館(旧大阪府立国際児童文学館)、京都国際マンガミュージアム、川崎市市民ミュージアム、現代マンガ図書館(内記コレクション)、コミックマーケット準備会、アーケードゲーム博物館計画について、それぞれの所蔵資料の量や範囲、保存法を調査した。以下、概要を記す。

国立国会図書館は漫画の単行本約15万点、雑誌約15万点(合冊製本単位)を蔵書している。雑誌は約1150誌(少年・少女向け約400誌、青年・成人向け約750誌)から成る。納本制度により国内の出版物を網羅的に収集し続けている。ただし、納本が行われなかった場合など欠号が少なからずあり、赤本漫画、貸本漫画、同人誌はほとんど所蔵していない。単行本はカバーやオビを廃棄している。また、古いものや利用の多いもの(特に少年・少女向け)は劣化・破損している資料が多い。児童書・児童雑誌に類するものは国際子ども図書館に配置されている。同館はまた、プランゲ文庫児童書コレクションの、マンガを含むカラーマイクロを所蔵している。

大阪府立中央図書館国際児童文学館は漫画・アニメの雑誌や単行本約70万点を所蔵している。収蔵対象は、中学生以下を主たる読者対象とした漫画の雑誌および単行本、ライトノベル、絵本、紙芝居、アニメ誌、児童誌、児童文学、またそれらに関連する同人誌や研究書など。青年や大人を対象とした漫画はない。開館した1984年以降の少年・少女漫画誌については、日本雑誌協会から新刊の網羅的な寄贈を受けており、ほぼ欠号なく蔵書している。また、戦前の児童漫画や紙芝居については国内有数のコレクションとなっている。同館は刊行時の状態のままの保管を基調としている。補強製本や合冊、粘着性フィルムによる装備、バーコード貼付などを避け、雑誌付録、表紙、帯、挟み込みのしおり・新刊案内・アンケートハガキなども保存されている。ただし、府立中央図書館への移管にともない、立体付録は受け入れられないとして、463箱が東京国際マンガ図書館での運用に向け、明治大学に移転されている。

京都国際マンガミュージアムは漫画の雑誌、単行本や関連資料等約 30 万点を所蔵している。漫画・風刺画研究家の清水勲からの提供資料約 9 千点が核の一つになっており、戦前の風刺漫画の資料や赤本などを多く取りそろえている。また、貸本屋旧蔵の装備済み漫画単行本 4 万 3 千点が開架で運用されており、同館の集客の柱の一つとなっている。さらに、タトル社や VIZ 社から、海外の漫画の新刊の提供を受けている。戦後の漫画雑誌も豊富に蔵書しているが、小口の寄贈資料が多く、それらについては体系性や網羅性は高くない。川崎市市民ミュージアムは博物館機能が主軸の施設であり、歴史展示に向く資料に収集の力点が置かれている。京都国際マンガミュージアムと同じく、漫画・風刺画研究家の清水勲からの提供資料が収蔵資料の核の一つになっており、戦前の風刺漫画や赤本漫画の資料などを多く取りそろえている。新聞の切り抜きや、風刺漫画家の遺品一式など、冊子状ではない資料も多数所蔵しているが、未整理のものが少なくない。戦後の漫画の雑誌や単行本についても蔵書しているが、収蔵のウェイトは戦前の資料にある。

現代マンガ図書館〈内記コレクション〉は単行本約 11 万点、雑誌約 7 万点を所蔵。貸本業を営んでいた館長の内記稔夫の蔵書が核となっており、昭和 30 年代の赤本や貸本漫画を多数収蔵しているところに特質がある。大阪府立中央図書館国際児童文学館と同様に刊行時の状態のままの保管を基調とし、補強製本や合冊、粘着性フィルムによる装備、バーコード貼付などを避けている。東京国際マンガ図書館への複合を前提に、2010 年より明治大学が運営主体となった。

コミックマーケット準備会は、1975 年の初回コミックマーケット（同人誌展示即売会）以来、同イベントで頒布されるすべての新刊同人誌の見本誌を回収・保存し続けており、調査時点で約 200 万点を保管している。そのほぼすべてが国立国会図書館で収蔵していない資料であり、かつ体系性も高い。ただし目録化は行われておらず、各開催回の発行サークルの会場内の配置ブロックごとに箱詰めされている。同資料については米沢嘉博記念図書館で現状での運用を試み、コミックマーケット 1 回分の見本誌約 4 万点、約 400 箱を同館の開架書庫に置き、利用者が発行サークル名とその配置ブロックを指定することにより館職員が当該ブロックの箱を開け、資料を出納する方法を採った。

アーケードゲーム博物館計画は業務用ゲーム筐体 30 点、基板約 700 点を所蔵。基板は緩衝材に包み、棚に縦置きで配架された状態で保管されている。遊興施設や旅館などから取得されたものが多く、体系性や網羅性は乏しいが、業務用ゲームの分野では数少ない大

規模なコレクションとなっており、メーカーに残っていない資料を多数含んでいる。

(4) 漫画の原稿、セル画・原画・レイアウト・絵コンテなどのアニメの制作画稿、ゲームの筐体や基板、ポスターなどの広告物、玩具などのキャラクター商品など、漫画・アニメ・ゲームの歴史展示を構成する上で必要となる資料を約 200 点、試験的に取得し、目録を作成した（図 3）。目録は 2009 年度末および 2010 年度末にそれぞれの時点で目録化された範囲で製本し、関連機関や研究協力者に配付することにより成果と情報の共有を図った。また、取得の実践や著作権・制作関係者に対する取材調査を通し、漫画の原稿の主だったものは作者の手許にあり、例外的にしか市場に流れていないこと、逆に絵コンテや設定画以外のセル画・原画・レイアウトなどのアニメの制作画稿については、スタジオにより廃棄やファン配付されたり、さらには現場スタッフにより持ち出されたりしてきた結果、多くのものがスタジオや著作権者の管理下を離れ、散逸し、販売価値を持つものについては部分的に古物商や競売などで流通していることなどが明らかとなった。

調査の過程で、マシントレスされたセル画のカーボン線が耐光性に乏しく、長期的な展示運用に向けて退色を防ぐ方法が現在ないことが判明した。暫定的な措置として、動画から生セルに新しいトレスを起し、オリジナルを重ねて展示する方法などが挙げられた。



図 3:「東京国際マンガ図書館」(仮称) マンガ・アニメ・ゲーム

(5) (1)～(4)の成果は、文化庁が2010年度に実施した「メディア芸術デジタルアーカイブ構築事業」に提供し、もって漫画・アニメ・ゲーム関連資料の全国的な所蔵情報のデータベース化を進めるための連携に供した。

(6) (1)～(5)を踏まえ、漫画・アニメ・ゲーム並びにそれらを構成する多様な媒体や形態にまたがる資料を複合的に管理できるデータベースの構築し、それにより串刺し検索を可能にするためのメタデータの試験設計を行い、(4)で作成した目録にこれを反映した。日本の漫画・アニメ・ゲームはメディアアミックス展開を発達させてきたところに大きな特質があり、媒体にまたがって共通する作品名やキャラクター名、原作者名などをキーにして検索できるようにすることを射程に入れた。

(7) (4)で取得された資料をキュレーションに用い、明治大学博物館にて2011年4月から5月にかけて開催された「吾妻ひでお展」において、(4)の成果を踏まえ、漫画・アニメ・ゲームにまたがって見受けられるキャラクターデザインの潮流を時系列の積層で表すための展示運用の実験を行った(図4)。展示に際しては、通常の美術館におけるようなホワイトキューブに作品を置く手法から距離を置き、それら作品を成立させる背景となった作品群や、後続の作品群と並置するための展示法を試みた。



図4：明治大学博物館「吾妻ひでお展」

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計2件)

①森川嘉一郎，マンガ・アニメ・ゲームの複合アーカイブ，文化庁月報，査読無，505号，2010，16-17

②森川嘉一郎，マンガ・図書館・大学・政府，現代の図書館，査読無，Vol. 47，No. 4，2009，222-225

〔学会発表〕(計1件)

①森川嘉一郎，Are Otaku Part of “Cool Japan?”，‘Otakuology:’ Challenges and New Directions，招待講演，2010年9月11日，Temple University

〔図書〕(計1件)

①森川嘉一郎他5名，マンガ・アニメ・ゲーム・フィギュアの博物館学，風間書房，2010，総ページ数160

〔その他〕

2009年10月に、本研究の成果を取り入れた「東京国際マンガ図書館」(仮称)の計画発表を行うとともに、同月には先行施設となる「米沢嘉博記念図書館」を開館し、以降、下記ウェブサイトを設置している。

<http://www.meiji.ac.jp/manga/>

(「東京国際マンガ図書館」(仮称))

http://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa_library/ (「米沢嘉博記念図書館」)

6. 研究組織

(1) 研究代表者

森川 嘉一郎 (MORIKAWA KAICHIRO)

明治大学・国際日本学部・准教授

研究者番号：40318837